

れいめい

令和6年5月11日
第36号

発行人
久保正和
東京都武蔵野市関前
3-22-12-202

ご挨拶

関東地区同窓会会長

東福清徳

(高19期・昭和42年卒)



令和6年、会員の皆様にはご健勝にて活躍のごことお喜び申し上げます。

さて、昨年度(令和5年)の「同窓の集い」は、長年慣れ親しんだ中野サンプラザが閉館になることから、都心の四ツ谷駅前にある「主婦会館プラザエフ」に場所を移し開催しました。3年間苦しみ

れた新型コロナウイルスも終息、同年5月から5類感染症に移行したこともあり、60余名の会友の参加を得て盛会でした。

このように、本年度も多くの会員の皆様から賛助金を拠出して頂き有難うございました。この浄財は関東地区同窓会の活動資金として有効に活用させていただきます。改めて皆様方のお心遣いに感謝厚く御礼申し上げます。

ご友人・ご家族お誘い合わせのうえ、ご出席下さいませ。ご案内申し上げます。

お手数ですが準備の都合上、出欠のご返信を(住所、氏名、卒業年度、期を明記の上)5月31日(金)までお願いいたします。

同窓生の皆さんへ

同窓生の皆様には、清祥にてお過ごしのことと思います。本年6月15日(土)に四ツ谷の「主婦会館プラザエフ」で同窓の集いを開催いたします。ご友人・ご家族お誘い合わせのうえ、ご出席下さいませ。ご案内申し上げます。

同窓会運営への協力をお願い

同窓会の運営は、活動面では役員・幹事のボランティア活動により、資金面では皆様方の賛助金(寄付金)により支えられています。誠に恐縮ですが会報「黎明」の発行、「同窓の集い」案内状の発送等、同窓会の活動・運営のために、寄付頂ければ幸甚と存じます。

◎一口1,000円以上
◎郵便局窓口で同封の振込用紙をご使用頂くか、ATM等で次の口座にお振込みをお願いします。
金融機関名 ゆうちょ銀行
支店名 〇一九(ゼロイチキョウ)

(100周年記念誌・記念新聞)も予定されております。当支部についても本部から大口寄付(1万円以上)候補者名簿の提出を求められ、勝手ながらこの数年の賛助金拠出者をはじめ同窓会活動へご支援・ご協力を頂いている方を中心にご紹介させていただきます。

生を受けていることを喜びとし、是非ご理解・ご協力を賜りますよう、また前述の各記念行事へも時間の許す限りご出席いただきますよう合わせお願い申し上げます。

本年度の「同窓の集い」は、6月15日(土)、昨年と同じ四ツ谷の「主婦会館プラザエフ」で予定しております。どうかご家族・ご友人お誘いあわせの上、ご出席いただきますようお願いします。

最後に会員の皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しまして、ご挨拶いたします。

預金科目 当座
口座番号 05010001
受取人名 関東伊集院高校同窓会
(カントウイシユウインコウコウドウ
ウツウカイ)
お振込み頂く際は、お名前のお後
に期の数字を記入頂きますと幸いです。
(例 高校39期の場合、「39」クホマ
サカス)

その他今後の同窓会の発展・繁栄の
ため、会員の皆様のご意見・提言等お寄せください。

また、同窓会幹事への若い方の参加もぜひお願いします。ご協力頂ける方は左記事務局宛にご二報下さい。
〒200-0004
埼玉県ふじみ野市上福岡
1-4-13 11113
有村雅文(幹事長・高20期)
049(263)7341

一日時 6月15日(土) 11時30分
受付開始11時
二場 主婦会館プラザエフ
三 交通
JR中央・総武線 四ツ谷駅 麹町口から徒歩1分
丸の内線 四ツ谷駅 1番出口から徒歩3分
南北線 四ツ谷駅 3番出口から徒歩3分

四 会費 七,000円(男女とも)
高65期 平成25年卒 以降 三,000円
同業者(二名で一〇,〇〇〇円)、お子様は無料。
学生は無料です。
(当日会場にて、徴収いたします。)

★本年度は、講演は中止いたします。
★郷土の物産販売は行いません。
★本年より会費を男女統一にさせて頂いております。

ごあいさつ

伊集院高等学校
同窓会会長 宮路

高光(高21期)



春を迎えるたびに、毎年のように暖かさが増しているのを実感しています。また、コロナが5類に移行して、花見を楽しむ人々もこれまで以上に賑わっているようです。伊集院高等学校関東地区同窓会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より同窓会の活動に御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

この創立100周年記念事業を成功させるために、一昨年12月より募金活動を開始いたしました。関東地区の皆様にも募金の趣意書が届いていると思います。創立70周年記念事業として設立した現在、2,500万円の教育振興基金を、創立100周年を記念してさらに増資して、新世紀の伊集院高校生の活躍を援助できる施設の建設や、機器の充実などの支援に役立てていきたいと考えております。今のところ目標には遠く及ばない状況です。関東地区の皆様にも、6月に同窓会報とともに送ります「第2回募金趣意書」を、貰いたいだいた、すでに募金していただいた方も含めて、さらなる募金の御協力をお願いいたします。また、同窓生の皆さまの関

ごあいさつ

校長 内園 優子



伊集院高等学校関東同窓会の皆様には、益々御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から母校の教育活動に御理解・御協力を賜り心から感謝申し上げます。さて、昨年五月に新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザと同じ五類に引き下げられ、様々な行事が以前のように実施できるようになりました。本校としては、今回のコロナ禍で学んだことを生かしてさらに教育活動を進化させていきたいと考えています。

伊集院高等学校は創立百周年を迎えます。まさに大きな転換期を迎えていると感じています。この四月、二百十名の新入生を迎えます。昨年からの生徒会を中心に、マスクコットキャラクターや百周年を記念したタオルの制作に取り組みました。すべて生徒たちが企画・立案し、高校生の創造性あふれる物として形になりました。ぜひお手にとって御覧いただきたいと思っております。

と上位大会への出場を目指し、放課後一生涯練習に励んでおります。九州大会以上の上位大会に出場した体育系部活動では、剣道部の川内颯真さんが、全九州高等学校総合体育大会、特別国体剣道競技では少年男子特別出場見事優勝の栄冠に輝きました。弓道部においては、紫旗旗全国高等学校選抜大会で女子団体準優勝、全国高等学校弓道選抜大会に女子団体の部と個人戦に岩崎衣代さんが出場しました。水泳部の迫田陽貴さんは、全九州高等学校水泳大会および新人水泳大会に背泳百、二百メートルに出場しました。陸上部の阿多詩々朗さんが、九州陸上選手権大会、全九州高等学校新人陸上大会の砲丸投げに出場しました。

今年度、百周年を迎えるにあたり、更なる伝統を築き上げていくために、在校生・職員一丸となって皆様の期待に応えられるよう努める所存でございます。どうか今後とも母校のために力を添えを賜りますようお願いいたします。同窓会活動の充実と会員相互の連携、親睦の深まり、同窓会の今後益々の御発展と皆様方の御健康と御活躍を祈念申し上げます。御挨拶と致します。

令和5年度「同窓集い」卒業生講演 「起業して30年を振り返って」

講演者
神野一則(高三七期)



二度の優勝、全国大会で三位の実績。

■大分から鹿児島に

私は石仏で有名な大分県臼杵市で生まれました。父親が造船所で働いてましたが、造船不況の折、会社が倒産。鹿児島で再就職することになり、中二のときに一家で串木野市に引っ越ししました。父は本当に一生懸命働いていたのに、倒産の憂き目にあい、子供ながらに社会の理不尽さを感じたのを覚えています。

■伊集院高校時代

高校は理系でしたが、ほとんど勉強せずにだらだらしていました。燃えるものもなかったです。部活はろくすっぽ泳げないのに水泳部に入りました。中学から水泳をやっていた人たちの中で、頑張っていた練習し、何とか県大会で六位に入賞しました。

■小田急トラベルでの5年間

上京後しばらくして、四畳半一間のアパートで、「ふとこのままでいいのかな」と思いました。生まれ変わって勉強しよう、と思いました。それから英検とったり、読書に励むようになり、期留学したり、北海道や関西に一人旅したり、旅行が好きだったので旅行会社に就職しました。入社時の夢は大きく、社長になることでした。法人営業をやりたいかたつたのですが、大卒ではないというところで一年間は小田急鉄道の切符売りをしてました。二年目からカウンター業務や添乗員をやるようになり、三年間勉強して、旅行業取扱主任者という国家資格もとりました。当時、会社

■起業を決意し3年間の修行を経て独立

起業を決意しました。資本もコネもありません。できることは何か？と考えたとき、飲食業か体を仕事か。当時、すでに結婚してましたので、妻に「飲食か清掃業をやりたい」と相談したところ、「飲食業は手伝えない」と言うので、清掃業に決めました。本

は、でも相変わらず勉強しないので大学は不合格でした。担任からは「浪人しろ」と慰められましたが、勉強したくないし、親元を離れたくないという気持ちもあり、東京の専門学校に入りました。

この国家試験に合格したのは自分が初めてだったと思います。実は五年間旅行会社に勤務すれば試験は免除されるので、あえて頑張ったという気持ちはありません。上に行きたい気持ちで強く、アピールしました。ただ、そうしているうちに、社長は小田急電鉄からの出向者になるものだと分かったり、先が見えてきました。五年間勤務して、実績も出て自信がついてきた頃でもありました。自分は本当に働くのが好きなんだと思ひ、独立してやってみようかと思ひ、勝負してみようと思ひようになりました。

■安定軌道へ

社員とアルバイトを抱えており、この人たちのためにも何とかしないと、心を入れ替えて、必死に営業を行いました。大手だろうとどこだろうと飛び込み営業を続けるうち、マクドナルドやすかいらーく、三菱電機ビルテクノサービスといった大手からの仕事がもらえるようになりました。会社案内を一枚持って本社に乗り込んだマクドナルドでは、なぜか気に入っていただけで、「好きなだけ物件をやるので、好きな数字を言ってくれ」と言われ、「100店やらせてください」と即答。しかし、従業員が足りません。自分も昼夜問わず作業しました。ところが、身体を壊して肺炎になり、三週間起き上がれずというところもありました。そうこうするうちに会社が安定化し、従業員も徐々に増えてきて、会社らしくなってきました。

■元請け会社の倒産でとりっばぐれ。仕事はゼロになり、お先真っ暗

起業したものの、最初三年間は借金もなく、コネもなく、たいした技術もなく、ないないづくしでしたが、変な自信だけがありました。不動産屋に一件一件ピラを配って回り、飛び込み営業で「仕事をください」とお願いする日々でした。ようやく東京電力の寮の仕事で十数件受注することができて、急遽アルバイトを集めて何とかやり遂げました。ところが、元請けの会社が倒産し、代金を払ってもらえず。せっかく明かりが見え始めて、何とかこの仕事で生きて行けるのではないかと思っていたところで、真っ暗闇になりました。その後、何件かとりっばぐれがあり、

■鹿児島とのつながり

ここで少し趣味の話させていただきます。三七才の時に空手を始めました。小学生の息子が習いたいというので道場に連れて行くと、「お父さんも一緒にどうか」と誘われ、運動不足の解消や健康のためにもなるかと思ひ習い始めました。息子がやめたあとも一人で続けました。実はまたまた流派に中高の同級生の川元君と後輩の久保君がいたのです。当時、私の実家は大きくなり、鹿児島に行くこともなく、つながりがなくなっていたのですが、空手を通じて鹿児島とのつながりができました。空手にだんだん

■次の危機を経て、安定化へ。飲食業にも進出

ようやく軌道に乗ってきたら、今度は六、七名いた社員の半分が辞めてしまいました。どうなるんだらうと不安に駆られました。何とか耐え続けようとして、セコムが安定化し

のめり込み、ジムで身体を鍛えたり、他の道場にも稽古に行ったりしていました。しかし、四十代半ばで試合に向けて本気でやっていたので、腰など体がガタが出てしまひ、四五才でやめました。M&Aしたことにより、事業を第三者的に俯瞰して見れるようになり、自分の視野も広がりました。会社も加速度的に成長し、良い選択をしたと思ひます。息子たち二人は、今それぞれ父親と同じ設備業界での起業を目指して、設備や空調の会社に勤めて修行しています。

■まさかの出来事・・・

仕事の話に戻りますが、仕事は順調で四三才のときには新社屋に移転しました。ところが、そこでまさかの一番きつことが起きたのです。ある朝、通勤したら全然知らない人が会社の前に立っていました。「ちょっと話がありますか、いいですか？」と。何ででしょうか？と聞くと、「会社に労働組合ができました。従業員の半分が加入しています。未払残業代がありますね。何千万円払ってください。団体交渉を行います」と言われ、全うの事を知らず、青天の霹靂でした。実際に団体交渉をやることになるのですが、今まで一緒に働いていた従業員と対峙するのが本当にきつかったです。会社は分裂して自分もフラフラでした。もうだめになるんじゃないかと思ひました。本当に一番つらい時期を一年位過ぎました。当時、入社三ヶ月くらいの社員が首謀者だったので、他の社員も「お金がたくさんもらえるかな」という気持ちがあったようです。最終的には、その首謀者が抜けて労働組合は解散しました。残った社員に対しては、水に流すというので、みんな力で合わせてやっていたところ、通常業務を再開しました。

■半生を振り返り

二七才で起業するとき、六十才でどうなるか？というのを思い描いて目標を立てました。紙に書いて、オーストリアの清掃会社の社長にももらったお酒の瓶に貼り、今でも持っています。逆算して毎年の目標と五年毎の中期目標を作り、トイレに貼り、年末に達成できたこととできなかったことを確認することです。今でもずっと続けています。目標がないと生きていけないタイプなので、これを続けてきて良かったと思ひます。また、若いときにダメダメだった自分がこうしてやってこれたのは、運と人に恵まれたのが一番だと思ひます。残りの人生も、いくつもの困難が訪れると思ひますが、感謝と積極的な気持ちを忘れずに頑張りたいと思ひます。

■M&Aで次のステージに

四八才のときに、他の会社の考えを取り入れ、自分の考えの枠を超えたいと思ひ、(株)第一ビルメンテナンスのM&Aを決定しました。自分の息子たちに、自分の会社を継がせたくないという理由の一つでした。M&Aしたことにより、事業を第三者的に俯瞰して見れるようになり、自分の視野も広がりました。会社も加速度的に成長し、良い選択をしたと思ひます。息子たち二人は、今それぞれ父親と同じ設備業界での起業を目指して、設備や空調の会社に勤めて修行しています。

本部総会参加報告

会長 東福清徳

昨年、8月19日(土)4年ぶりに開催された母校の同窓会総会に同窓地区同窓会を代表して出席しました。総会に先駆けして支部長会が開かれましたが、本年度はコロナ禍明けで殆どの支部が活動を休止していたこともあり、話題はもっぱら100周年記念行事、記念事業に終始しました。これら詳細につきましては、本紙一面の会長挨拶でも述べておりますが、

教育振興基金1億円の募金活動について、強力な協力要請がありました。引き続き行われた総会では、幹事期の高32期、33期、34期生の協力により160余名の卒業生が参加(内、関東地区からの参加は5名)、盛会でした。恒例のミニ講演会では志学館大学学長の飯干紀代子氏(高34期)が「人生100年時代を生きる」と題して講演されました。創立100周年にあたる本年度



は、高35期、36期生が幹事を務めることになっております。当地区からも多くの仲間が参加されることを期待します。

(高32期 昭和55年卒業、高35期 昭和58年卒業)

は、高35期、36期生が幹事を務めることになっております。当地区からも多くの仲間が参加されることを期待します。

は、高35期、36期生が幹事を務めることになっております。当地区からも多くの仲間が参加されることを期待します。

は、高35期、36期生が幹事を務めることになっております。当地区からも多くの仲間が参加されることを期待します。

は、高35期、36期生が幹事を務めることになっております。当地区からも多くの仲間が参加されることを期待します。

は、高35期、36期生が幹事を務めることになっております。当地区からも多くの仲間が参加されることを期待します。

第45回

関東地区「同窓の集い」報告記



第45回関東地区「同窓の集い」は、令和5年7月1日(土)に、中野サンプラザ閉館に伴い四ツ谷駅前「主婦会館プラザエフ」にて会員51名の参加のもと行われました。新型コロナウイルスに終息の兆しが見えてきたことから、今回は5年ぶりに従来の形態で開催させていただきました。

東福会長からは、新しい会場探しに苦慮した影響で例年の6月開催が遅れたことのお詫びと共に、出席いただいた会員並びに賛助金を拠出いただいた方々への感謝の言葉がありました。

続いて、来賓の宮路同窓会会長より令和6年に創立100周年を迎えるに当たり、本部での準備状況のお話があり、合わせて記念事業を成功させるための募金活動への協力依頼がありました。続いて各役員より活動報告、会計報告が行われ承認されました。

講演は、神野一則氏(高37期)に「起業して30年を振り返って」と題しお話をいただきました。経営者として大変苦労された時期のお話では感極まる瞬間があり聴講者の涙を誘う場面もみられました(講演録詳細は第二面に掲載)。

懇親会では、久々の立食スタイルということで皆さん活発に移動して、再会を喜び合う姿が見られました。今回も焼酎メーカーから飲み物を提供いただき、郷土の焼酎が「さしかぶい」の鹿兒島弁での語り合いに役買っていました。

また、地元物産品の販売も復活し「伊集院饅頭」「つげあげ」「湯之元せんべい」などすぐに完売となりました。最後に、まだまだ話し尽きぬ中、お互い健康で次回再会できることを誓い、恒例の新旧校歌斉唱、万歳三唱を経て散会しました。



懇親会では、久々の立食スタイルということで皆さん活発に移動して、再会を喜び合う姿が見られました。今回も焼酎メーカーから飲み物を提供いただき、郷土の焼酎が「さしかぶい」の鹿兒島弁での語り合いに役買っていました。

また、地元物産品の販売も復活し「伊集院饅頭」「つげあげ」「湯之元せんべい」などすぐに完売となりました。最後に、まだまだ話し尽きぬ中、お互い健康で次回再会できることを誓い、恒例の新旧校歌斉唱、万歳三唱を経て散会しました。

職場のある渋谷は観光客で溢れ返り、すっかりコロナ前の賑わいを取り戻したかのようです。渋谷・鹿兒島おはら祭も昨年より平常再開となり、今年も5月19日(日)に開催されます。伊高OBも沢山参加する日置地区連は今年総勢約80名の最大勢力となりそうです。渋谷の街に懐かしい鹿兒島弁が飛び交います。お時間が許すようでしたら、是非沿道に見に来ていただけたらと思います。(久保)

同窓会レクリエーション

親睦ゴルフ大会

第16回同窓会ゴルフ大会を令和5年10月5日



(木)野田市パブリックゴルフ場(けやきコース)に於いて開催しました。当日は天気恵まれ、高9期から32期までの13名が参加しプレーを満喫、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。今回の入賞者は下記の通りです。

優勝 假屋眞澄 (高19期)
準優勝 松下八男 (高19期)
三位 石井良二 (高20期)
初心者の方でも奮っての参加をお待ちしています。令和6年度は、10月3日(木)に昨年と同じ野田市パブリックゴルフ場(けやきコース)で開催予定です。連絡先 野添幸男 (高21期、携帯:090-4349-5287)



賛助会員のご紹介

令和5年度も同窓会の活動・運営のために、103名の皆様から多額の寄付を戴きました。誌面を拝借して厚く御礼申し上げます。(賛助会員太字は1万円以上の寄付者、()は旧姓)

Table listing names and graduation years of donors, organized by graduation year from 高21期 to 高53期.

令和5年度活動報告

編集後記